

福井市の公民館のあゆみ（その10・最終）

14. 全国優良公民館、文部科学大臣賞受賞の記録

福井市の公民館は、今日まで半官半民による福井市独自の運営方法により、特色ある様々な教育事業の展開、各地区の各種団体や地区事業に関する自主活動への支援・連絡調整など、地域のコーディネーターとしての役割を果たしつつ着実な歩みを続けてきた。その間、館長および主事の熱意ある取組により、地域コミュニティの機能保持と活性化が高まり、大きな成果をあげてきた。

このような経緯の中で、以下のように数多くの公民館が、全国優良公民館として文部科学大臣表彰を受け、福井市の公民館活動が全国に誇れるものとして高い評価を得ている。

年度	公民館名	年度	公民館名
昭和22年度	丹生郡殿下村公民館	平成18年度	福井市春山公民館
昭和52年度	福井市順化公民館	平成19年度	福井市麻生津公民館
昭和62年度	福井市社南公民館	平成21年度	福井市湊公民館
平成3年度	福井市中藤島公民館	平成23年度	福井市円山公民館
平成4年度	福井市旭公民館	平成24年度	福井市森田公民館
平成5年度	福井市東藤島公民館	平成25年度	福井市社北公民館（最優秀館）
平成13年度	福井市東安居公民館	平成27年度	福井市安居公民館
平成15年度	福井市東郷公民館	平成28年度	福井市和田公民館（優秀館）
平成16年度	福井市啓蒙公民館	平成29年度	福井市木田公民館
平成17年度	福井市岡保公民館		

※昭和22年の殿下公民館は、生活科学化協会、毎日新聞社の表彰

※平成15年以前は文部大臣、以後は文部科学大臣表彰

※平成25年度以降、優良館の中から優秀館5館を選出、内1館を最優秀館として表彰

○平成28年度 和田公民館が文部科学大臣賞（全国優秀館）を受賞

全国の優良公民館の中から5館が選ばれ、その後の最終審査で全国優秀館に決定した。和田地区では「和田発展不己（やまず）」を合言葉に、公民館を拠点として様々な事業に取り組んでいる。特に、地区の歴史や暮らしぶりを手づくりの劇を通して表現し、地区の名物（自慢）となっている「くちパク和いわい劇団」や、地区住民のふれあいの場として開催される「れんげ和ん田あ〜らんど祭」が定着してきたことなどが高く評価された。

○平成29年度 木田公民館が優良公民館として、文部科学大臣より表彰

木田公民館では、木田ちそ・木田青かぶ・板垣大根などの伝統野菜を生かし、子どもから大人まで参加する畑体験や伝統料理作りなどの郷土学習を継続している。また、「げんきだ・やるきだ・クリーン木田」を合言葉に、地域コミュニティの活性化をめざして、それぞれ福祉部会・人づくり部会・環境部会の中で特色ある事業を展開している。